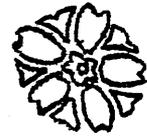




日中 湘南支部だより



2012. 2. 5

50号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

新年おめでとうございます。多難の年が続きますがともにごんばりましょう。

9～12月分会費納入ありがとうございます。

1月 学習会

とき：19日(木) 午後2時～4時

ところ：藤沢市民活動推進センター

原田敬一著『「坂の上の雲」と日本近現代史』の学習

1月 ニエ・アル広場清掃は16日(月)です。
午前11時から。ごつごうのつく方は現地まで。

—使える中国語を楽しく—

支部中国語教室

1月の 学習日・第1回授業 日時変更。

16日(月) 午後1時半～3時半。

28日(土) 午前9時40分～11時40分。

教室：鵠沼橋市民の家

(藤沢駅から歩いて10分弱)

原則 2・4土曜日 午前9:40～11:40

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・座間)の傍聴ができます。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどし見学・お問合わせを!

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

11年度 第6回 県連常任理事会

12月5日(月) 午後2時から県民活動サポートセンターで開きました。

神奈川平友連*主催、太平洋戦争開始70年記念講演会のこと(→2ページ)、組織強化問題などについてきめました。

第7回は、1月10日(火)に開かれます。

* 神奈川平友連加盟団体

日中友好協会神奈川県連合会

NPO法人・神奈川日本ユーラシア協会

日本ベトナム友好協会神奈川県本部

日朝協会神奈川県支部連合会

神奈川県平和委員会

神奈川県原水爆禁止協議会

神奈川県アジア・アフリカラテンアメリカ

連帯委員会

中国旅行プラン決まる 折込みチラシをご覧ください。

県連主催本年度の中国旅行の計画は5日の常任理事会とその後の打ち合わせでまとまり、3月実施となりました。

11年度 第5回支部理事会

12月9日(金)に本鵠沼ふらっとで開きました。

以前からの会員、戸田さんが湘南支部所属になりましたので、きていただき役員と顔合わせをしました。

組織拡大、カレンダーの普及を中心に話し合いました。

目標：会員11、準会員12、「季刊中国」6

このあと準会員2名を迎えています。

第6回理事会は、1月13日(金)。

組織拡大計画の具体化すすむ

県連組織拡大推進委員会を中心に

組織拡大推進委員会は11月15日(火)に第2回、12月8日(木)に第3回の委員会を開き、中心議題として新しい支部の結成を目指して会員・準会員があつまる相談会の日取りなどを下のようきめました。

早期の支部結成を期待する地域として12月15日(木)横浜西南部の会員・準会員による支部結成相談会を、相模原市地域では11月の中国旅行参加者などに積極的に入会を呼びかける。

このほか、先に中止になった3支部(県央、湘南、西さがみ)親睦交流会を2月上旬～中旬に開く。

参加者に勇気を アジア太平洋戦争開始70周年記念講演会

12月16日、県民サポートセンターで神奈川平友連の主催で開かれた講演会「東アジアの平和と日本」で、講師の川田忠明さん(日本平和委員会常任理事)は、ことし2011年に世界で起こったできごとをふりかえり、多くの地域で市民の力で、軍事・暴力にたよらずに社会を変えてきていることをあらためて確かめ合い、国際間でも平和運動・友好連帯運動の広がりによって小さな衝突を危機的な方向へ進むことは回避できるとの見通しを語りました。参加者の声は、身近な経験から、ともすると悲観的になりがちだが、この講演に元気づけられた、とのことでした。



編集あとがき：スペースのつごうで講演会の内容は、たいへん大ざっぱなものになりました。お許しください。(ワ)

伝・大震災の記録

府川 きよし

花水川物語123

花水川から1km東 平塚2丁目の大鳥公園の片隅に
関東大震災・遭難者供養の碑がある
添えられた平塚市観光協会の解説の全文

1923年9月1日正午頃、突如として起こったM7.9の
大地震は、平塚町とその周辺に大きな被害を与え、
家屋は全壊または半壊したものが多かった。

当時の平塚町は 戸数3384戸、人口1万851
8人で、死者275人を数えた。この内、焼死は1人で
他は庄死であった。負傷者は232人。

馬入鉄橋は川中に落ち、国道の馬入橋も全壊し、道
路は各所で亀裂を生じあるいは陥没して寸断された。
病院は負傷者を収容しきれず、火葬場では死体の処
理が間に合わない状態だった。

圧死者を多く出した平塚駅、紡績工場の惨状は云う
に及ばず、たまたま当時全国殖産博覧会が平塚第一
小学校（現・市立崇善小学校の前身）で開催中だっ
たので、ここでも圧死者を出した。

3月11日平塚海岸に押し寄せた津波・第3波1.4m

震源域が離れ 東西の半島に囲まれた内海・相模湾

海底が深いので 津波は高くなりならず被害はなかった

かつて相模湾に大津波が 押し寄せた記録が数々残る

関東大震災はM7.9 小田原から相模湾が震源域

熱海に 高さ12mの津波が押し寄せ 甚大な被害

花水川河口は6m 津波の被害は伝えられていない

鎌倉長谷の高徳寺の大仏は かつてお堂の中に鎮座

台風で倒壊再建 1498年 東海・東南海・南海が連動

明応巨大地震の大津波で 堂屋は押し流された

その後 大仏殿の再建はままたらなかつた

1703年12月 房総半島の最南端・野島崎付近が震源

元禄地震M8.1 関東大震災と同じ海溝型の大地震

関東一円で 死者1万人を超えた大災害であった

三浦、房総半島に 押し寄せた8〜10mの大津波

500戸のほとんどが流出 残った家は10戸であった

平塚は4m 横浜では3mの津波が押し寄せた

その40年前 1293年鎌倉大地震は永仁地震と言われ

調査が進んでいるが 規模は関東大震災であった
市は防災計画は 元禄地震を想定し練り直すという

4年後 富士・宝永山大噴火の49日前の1707年10月
同じ型の宝永大地震M8.6発生 駿河湾は連動せず
関東は被害が少なかったが 東海から西は大災害

明応と同じ連動型巨大地震が数十年内に来るとい
M8の関東大震災は200年〜400年の周期で発生する
規模の小さい陸の活断層が動く直下型の地震は
首都圏で百年に2〜3回 M7クラスが起きている
私たちが暮らすこの南関東も 関東大震災以後の
地盤の安定期が終わり 活動期に入っている

箱根温泉の湧き出し異状 前触れの地震などに
小田原は行政・消防関係者が ピリピリしている
周辺を震源とする小田原地震・70年説である
前回は関東大震災と連動 溜ったエネルギーを放出
既に83年たったが まだ地震は起きていない
もう起きてても…等 能天気なことでは言ってられない

平塚周辺の活断層の地図を 博物館が完成・発表
いつ動くかわからない活断層が 何本も通る
備えは大丈夫か 警戒を怠れない

建物の耐震性は たしかに向上している
普段の訓練 防災対策 いざという時の心構え
揺れが収まったら火を消す 安全な所へ逃げる
先人の教訓を生かし 想定外では済まされない

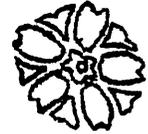
第一撃の強さを どう判断するか 明暗を分ける
だが 地震は 来てみなければ判らない
それが うそ偽りのない本音だ

この大地に暮らし 自然の恩恵を享受している者は
地震・台風・大雨・竜巻・雷・熱波・寒波・早ばつ
厳しい現実遭遇したら それを受け入れ
折り合いをつけ 克服しなければならない

科学者で 文人の寺田寅彦の名言
―災害は忘れた頃にやって来る
我が家は 庭に井戸を掘ることを考えている



日中 湘南支部だより



2012. 2. 5

51号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡先 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

「中国悠久の旅2012」全50部普及できました。

少数、年を越しましたが、おかげさまで売り切れとなりました。ありがとうございました。

2月 学習会 未定

2月支部理事会のあと お問合せください。

学習会テーマ、ご意見お寄せください。

1月の学習会は参加者少数でしたが、この中でテーマを見直したらいいとの話がでています。

11年度 第7回 県連常任理事会

1月10日(火) 午後2時から県民活動サポートセンターで開きました。

組織強化問題の具体化として横浜地区の交流会・支部結成相談会、などをきめ、学習会計画素案などにつき話し合いました。

第8回は、2月7日(火)に開かれます。

県連主催 ことしの中国旅行は

貴州省少数民族ミャオ族との交流、世界遺産赤水の旅

3月8日(木)～13日(火)

お知らせチラシにしたがってお申し込みください。

11年度 第6回支部理事会

1月13日(金)に本鶴沼ふらっとで開きました。

役員を含め、5人が出席しました

話し合いに先立ち、会員の艾さんから日本公演を希望していると話のある重慶合唱団のDVDの一部を見ました。

目標：会員13、準会員9、「季刊中国」3

第7回理事会は、2月16日(木)。

下曽我 梅見の会 2月11日(祝・土)

梅見の会実行委員会主催

日中西さがみ支部は準備会のときからこの実行委員会に参加、支部結成につながった催しです。去年は悪天候のためやむなく中止となりました。

JR御殿場線下曽我駅から徒歩15分の梅林で、やぶさめの会場とは線路の反対側へ行きます。

2月 ニエ・アル広場清掃は14日(火)です。
午前11時から。ごつごうのつく方は現地まで。

—使える中国語を楽しく—

支部中国語教室

2月の 学習日

11日(土) 午前9時40分～11時40分。

予定：25日(土) 午前9時40分～11時40分。

教室：鶴沼橋市民の家 (藤沢駅から歩いて10分弱)

学習者がへりつつあり、第2回以後、変更があるかもしれません。

つごうにより出席できないばあい、他の教室(海老名・座間)の傍聴ができます。

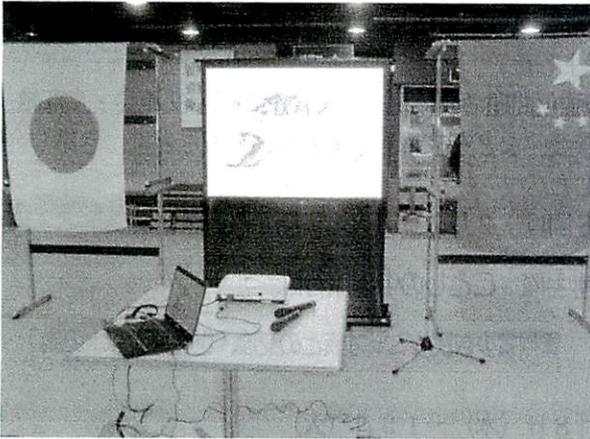
先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどし見学・お問合わせを!

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

2012年春節晩会 横浜地区中国留学生学友会主催

2012年1月12日(木)、横浜国立大学で開かれ、日中友好協会神奈川県連も招待をいただきました。会からはワタナベが出席しました。その他の出席者は横浜華僑総会、留学生援護会ほか、留学生の支援をしたり、中国との友好に努めている団体でした。

この日はこれまでの仲秋国慶晩会、春節晩会で最高の80人ほどの学生が出席、招待客と合わせて100人ほどとなるたいへんにぎやかな会となりました。まず、学友会の呂前会長とそれを引き継いだ喬禹翔新会長それぞれからのあいさつ、参加団体の代表からのことばのあと歓談・学生の民族舞踏・福引ジャンケン大会など楽しい時間をすごしました。(ウ)



会場正面 スクリーンのタイトルがはっきりしません



ウイグル自治区出身男女学生の民族舞踏。幼いときから始めたものと直接うかがいました。

編集あとがき：1月29日「育鵬社の教科書NO」の集会に参加、シンガポールの小学校の社会科教科書を中学生が翻訳したものを手にいれました。太平洋戦争の時代の現地の真実がえがかれています。(ウ)



日中 湘南支部だより



2012. 3. 5

52号

発行 日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた テンフ・ファックス (0466) 43-0495

3月 学習会

と き：29日 (木) 午後 2時~4時

ところ：市民活動推進センター

「日本近現代史を読む」(新日本出版社)

1回に2章ぐらいをメドにすすみますが、学習のしかたについてもご意見を。

久々の学習会です。多くの方の参加をお待ちしています。

11年度 第8回 県連常任理事会

2月7日 (火) 午後2時から県民活動サポートセンターで開きました。

横浜地区の支部結成に向けてのとりくみ、第42回県連大会について、4月以降の学習会などについてきめました。

また、中国旅行の中止に関連し、今後の計画については費用12,3万円ぐらい、4泊5日ていどがいいのでは、との意見が出ています。

第9回常任理事会は、3月6日 (火) に開かれます。

県連主催 今年度の中国旅行は

参加希望少数のため中止。

3月 ニエ・アル広場清掃は6日 (火) です。
午前10時から。ごつごうのつく方は現地まで。

一使える中国語を楽しく一

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は他の教室(↓)へ出かけて勉強しています。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどしお問合わせを!

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室	海老名サポートセンター
入門教室	海老名サポートセンター
海老名教室	海老名中央公民館
座間教室	座間東原コミュニティセンター

11年度 第7回支部理事会

2月6日 (木) に朝妻宅で開きました。

役員を含め、3人が出席しました

2月、3月の活動計画について話し合い、学習会について別項のとおり決めました。

東日本支部運営者会議にはワタナベ支部長が参加。

3月3日、4日に東京品川区で開かれる東日本支部運営者会議には支部から複数の参加がもとめられていましたが、湘南支部からは、参加者ひとりということになりました。

組織拡大目標：会員13、準会員9、「季刊中国」3

第8回理事会は、3月8日 (木)。

西さがみ支部 「人間の条件」 上映会

第3部 望郷篇・第4部 戦雲篇

3月18日 (日) 尊徳記念館
(小田急線 富水下車徒歩12分)

編集あとがき：まだまだ寒い日が続いてい
ます。お体にお気をつけられてお過ごしください。

第44回全国きりえコンクール作品募集

主催：日本中国友好協会

運営・審査：日本中国友好協会きりえ委員会

応募用紙希望のかたは県連（045-663-0041）まで



第43回最優秀作
宮下紀代美さん
「冬したく」

審査日時：2012年4月22日（日）

応募規定 ● 最寄の協会連合会・支部を通じてお申し込みください。

- 大人の部：高校生以上／ ジュニアの部：中学生以下。
- 出品点数：ひとり2点まで。
- 作品寸法：はがきサイズから20号（73×61㌘）ていどまで
- 作品は額装（表面はアクリル必須）をした上で必ず箱等に入れてください。ジュニアは額装なしでも可。
- 創作作品にかぎりません。模写及び文字だけの作品は不可。
- 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、正表は1点ごとに額裏右上にはり、副表は作品に必ず同封。
- 審査後、作品は返却しますが、大人の部各種入選作は全国巡回展に展示し終了後の返却となります。

出品料 ● 大人：1人2点まで4,200円（税込）／ジュニア：1人1点につき525円（税込）。

- 振込先：郵便振替00110-1-21176 日本中国友好協会
- 作品提出時に上記口座へお振込みください。出品料の納入がない場合は審査対象にはなりません。
- 作品の往復運賃はご本人のご負担となります。

作品搬入日（応募締切り）・送り先

- 4月9日（月）～11日（水）の間に到着するようにお送りください。

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会ビル3階

日本中国友好協会 第44回全国きりえコンクール係 (TEL03-3234-4700 Fax 03-3234-4703)



日中 湘南支部だより



2012. 4. 15

53号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

5月 学習会

(4月 学習会は やすみ)

と き：24日 (木) 午後 2時~4時

ところ：市民活動推進センター

DVD 「中国の世界遺産」を見る。

さきに「日本近現代史を読む」としましたが、これは、初めから読んでいくことは中止、時に応じ、箇所を限定して学習することとしました。

5月 ニエ・アル広場清掃は7日 (月) です。
午前10時から。 ごつごうのつく方は現地まで。

—使える中国語を楽しく—

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は他の教室(↓)へ出かけて勉強しています。

先生はモチロン学習者も仲間を待っています。少しでも興味のある方、どしどしお問合わせを!

問合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名中央公民館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

11年度 第10回 県連常任理事会

4月3日 (火) 午後2時から県民活動サポートセンターで開きました。

おもに「横浜中華街の歴史を知る集い」、相模原支部結成総会(→下記)、組織拡大の目標達成、について話し合い、決めました。

第11回常任理事会は、5月8日 (火) に開かれます。

4月18日 (水) 相模原支部結成

去年秋の中国旅行をきっかけに話が出ていた相模原支部結成が、ことしの二回の相談会の結果、決まりました。

相模原は、伊藤敬一日中友好協会名誉会長の居住地であり、今後のますますの発展が期待されます。

またこの日、支部結成を祝い、同じ会場で

18時30分から董金明さんの二胡演奏会

も開かれます。 会費：1000円

19時30分から支部結成総会 となります。

会場：相模原市民会館 4階 「あじさいの間」

11年度 第8回、第9回 支部理事会

それぞれ、3月8日 (木)、4月5日 (木) に開きました。学習会の持ち方(→別項)、ニエ・アル祭の取り組み、などについて話し合いました。

ことしはニエ・アル誕生100年の年でもあり、協会本部で映画「ニエ・アル」のDVD化ができていますので、それを多くの人に見てもらおうこととしました。

第10回理事会は、5月10日 (木) 午後2時~。

12年1月~4月の会費等の請求書を準備しています。請求書が届きましたらよろしくお願ひいたします。

編集あとがき：やっとお花見の話題が聞かれる

ようになりましたが、去年の今ごろは輪番停電であたふた。被災地の復興は1年たってまだまだ。為政者たちに民の心によりそった施策を望みます。

中国少数民族村への旅

戸田 真康

3月8日から14日まで中国少数民族のツアー旅行に参加しました。中国の少数民族は50あまりあるそうですが、このコースはごく一部の民族村（貴州省の）を訪ねる、中国人案内の人が作成したコースです。昔は揚子江付近に生活していましたが、戦乱を避けて山の多い貴州省へ来たそうです。道路は舗装されていず、周りは山の上まで棚田がつくられ、生活は貧しい方です。日本の五箇山を思い出しました。

横浜6.30高速バスで成田空港へ。そして、空路、広州―貴陽空港。バスで凱里へ。金冠酒店に着いたのは夜の9.30。「思えば遠くへ来たものだ。」

2日目は、日本人蒔塚さんが私財を投じて作った小花ミャオ族の刺繍会館（写真左。右の後方）を見学。聞いていたが、独特の楽器と民族衣装の歓迎式。牛の角に酒が入ったのを飲む儀式で入村（写真右。飲んでいるのが私）。楽器の演奏と踊り。昼食は村の家で地酒と地料理。午後はロングスカートミャオ族、村へ入るには午前と同じ儀式、銀の飾りを付けた衣装の踊りと老人男女が向かいあって歌を聞かせる。夜は酒家で名物「酸湯魚」料理。



3日目、路の両側は棚田。山道をバスで紙漉きの石橋村や鳥籠造りの八塞ミャオ族や水族の村を散策。

4日目、芭沙ミャオ族の村へ。本物の銃を何発も発射した歓迎式。広場へ案内され、旅行者と少女と一緒に踊ったりカマで髪を剃る儀式演出。午後はトン族村で村の中の鼓楼を見学、ゆったり散策。夕食は地酒と名物ナレ寿司や少女のきれいな声の歌を聞きながら食事。

5日目、桂林までの長旅。途中トン族の風雨橋を見て一路桂林へ。

6日目、桂林の名所象鼻山のある公園を歩き、空路広州へ。広州はにぎやかな北京路通りを自由見学。夕食は高級酒店でフカヒレ石鍋料理。

7日目、午前西漢南越王博物館見学。旅も終わり広州から成田へ。

現地ガイドさんは、ほんの昔までは山道を歩いてしか村までいけなかった、しかし、ここ数年開発が進んで現地政府も観光に力を入れていたので、この素朴さはもうすぐなくなっていくだろう、と語っていました。



日中 湘南支部だより



2012. 6. 5

55号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

9日、10日全国大会に県連代議員3名参加

いよいよ9日、10日に日本中国友好協会第61回大会が開かれます。議案は「友好新聞」5月5日号に発表されています。県連では代議員として増田会長、高瀬副会長と新支部相模原から役員の河野さんが参加します。

評議員として矢島常任理事、全国常任理事としてワタナベが参加します。

県連大会に全会員参加を

全国大会を受けて26日には県連大会が開かれます。県連大会は全会員で話し合える機会です。ご案内(近日)にしたがってご参加ください。

第10回 支部理事会

5月10日(木)「ニエ・アル生誕100周年記念友好のつどい」の計画(→次項)を中心に話し合いました。

第11回 支部理事会 6月7日(木)午後2時～

2012年 日中友好のつどい

ニエ・アル生誕100年祭

7月17日(火)

10時00分～12時50分 鶴沼公民館 ホール

講演とDVD上映

講演「ニエ・アルの活躍した時代」伊藤敬一名誉会長

DVD「ニエ・アル」(1959年の映画のDVD化)

13時10分～ 懇親会 かふえ香房

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名市文化会館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

6月 学習会

とき：21日(木)午後 4時～6時(ご注意！)

ところ：市民活動推進センター

DVD 「中国の世界遺産」2 を見る。

「承德の避暑山荘と外八廟、頤和園、北京原人遺跡」編です。

5月は1「明・清朝の皇宮郡、天壇、万里の長城」編でした。

6月 ニエ・アル広場清掃は11日(月)です。

午後1時から。 ごつごうのつく方は現地まで。

11年度 第12回 県連常任理事会

5月8日県民活動サポートセンターで開き、下記のことなどについてきめました。

- ・ 相模原支部承認 ・ 横浜西支部結成準備
- ・ 第42回県連大会 ・ 盧溝橋事件65周年行事
- ・ ニエ・アル誕生100年記念行事(←) 75

第13回常任理事会は、6月5日(火)に開かれます。

—使える中国語を楽しく—

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は県央の教室へ出かけて勉強しています。先生、学習者ともども仲間を待っています。

問い合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

編集あとがき：ここ数日、「平和のための戦争展 in よこ

はま」の準備などに参加、週末は参観者増を実感。(ワ)



中国と私

柳田 里美

まだ1度も訪れたことのない国、中国。四千年の歴史を持つ国として、医食同源を唱える国として、尊敬と憧れを持っていました。それがいつの頃からか中国製品は今ひとつ信用ができないという雰囲気になって、なんだか残念な気がしています。

そもそも私が中国という国を意識したきっかけは、神戸っ子の母にありました。幼い頃、子どもの私が見ても縫製の丁寧なカッティングのいい洋服、ブラウスやワンピース、チャイナ服などがあり、誉めると母は少し得意げに「これは中国の人に仕立ててもらったのよ。」と言ったのです。幼い私はそのまま納得して、会ったことのない中国人という人たちを想像して、手先の器用ないい仕事をする人達と勝手に思い込んだのでした。

そして神戸から叔母が遊びに来ると、決まって母は家族全員を引き連れて中華街へ食事に行くのです。関西の地から遠い関東へ移り住んだ母は、横浜の中華街に慣れ親しんだ神戸の南京町の面影を重ねていたのだと思います。子どもだった私は、母のそんな郷愁に気づかず、当時中華料理があまり好きではなかったので、少しむくれながらついて行ったのを覚えています。

その叔母も早くに亡くなり、私たち子どももデートなどで忙しくなり、父の転勤で両親が他県に居を移したこともあり、中華街行きも減ってきてしまいました。それでも、いつのまにか何か事があると中華街へ行くということが、私たちにすり込まれていったようです。

歳月が過ぎ、横浜生まれの夫と結婚してから再び中華街との縁が深まりました。家族のお誕生日やお祝い事があると、中華街のお気に入りのお店で食事をするようになったのです。中華街へ行けばおいしい物が食べられる、楽しい事があると、今度は私たちの子どもにその意識がすり込まれていくことでしょう。

中国には高い文化がありました。それらがいつ誰によって崩されていったのか、今知りたいと思っています。幸い湘南支部のお仲間に入れていただいたので、これから少しずつ学んでいけることをうれしく思っています。



日中 湘南支部だより



2012. 8. 5

57号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

ニエ・アル生誕 100 年祭

2012 年 日中友好のつどい

→2ページ

学習会

夏休み です

今後のテーマなど、みなさまからのご希望をどうぞ。

8月 ニエ・アル広場清掃は

6日(月) 13時30～ です。

ごつこうのつく方、現地まで。

暑いと思いますが、がんばりましょう。

第12回 支部理事会

7月12日(木)「ニエ・アル生誕100周年記念友好のつどい」の計画を中心に話し合い、16日には市民活動推進センターで「つどい」の資料作りをしました。

第13回 支部理事会 8月15日(水) 午前9時半～。

一使える中国語を楽しくー

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は県央の教室へ出かけて勉強しています。先生、学習者ともども仲間を待っています。

問い合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名市文化会館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

活動方針の具体化 県連常任理事会

第1回常任理事会

7月9日(月) 県民活動サポートセンターで

県連大会の総括、役員の仕事分担を決めたあと、7月以後の活動の具体化の話し合いをしました。

7月は、「中国帰国者を支援する会」の総会、映画と講演のつどい、「ニエ・アル生誕100周年祭」、「第34回相模湖・ダム殉難者合同追悼会」の成功、参加に向けて。

→県連ニュース195号。

8月、15日(水) 終戦記念日の不再戦・友好の宣伝と「集い」→折込みチラシ

中国「残留孤児」配偶者の生活支援請願署名の取り組み
湘南支部では400筆を目標に取り組みます。折り込みの署名用紙をご活用ください。署名のすんだ用紙は湘南支部、あるいは県連までおとどけください。

第2回常任理事会は、8月13日(月)に開かれます。

「日中友好のつどい」

懇親会に20名余が参加

7月17日、午後は「かふえ香房」で懇親会が開かれました。20名を越える参加者となり、なかには午前のもよおしに参加、「友好協会に入りたくて」と参加を決めた方もあり、それぞれに友好の思いを語り合い、増田県連会長から「50年以上にわたりこの日本の地で中国の偉人をしのぶ行いが続けられてきたことは日中友好にとってたいへん意義が深いものがある。」のことばで会がしめくられました。

私たちが学ばべきたいへん感銘深いことばでした。

編集あとがき：近年にないモーレツな暑さがつづいています。皆さまくれぐれも体にお気をつけられてお過ごしください。8月になりました。6日、9日、15日と戦争にまつわる思い出の濃い月です。野田政権と同調者のすすめる、原発容認政策への異議申し立ての行動がますます強くなり、はじめは軽視・無視していたマスコミにも少しずつ変化がみられるように思います。さらに声をあげつづけていきましょう。(7)

2012年日中友好のつどい

ニエ・アル生誕100周年祭

公民館ホールに50名

例年ニエ・アルをしのぶ会と日中友好協会神奈川県連主催で開いている「日中友好のつどい」、
ことしは7月17日に鵠沼公民館で、講演と中国映画を見るつどいとして行われた。

この日は、ニエ・アルが鵠沼の海で不慮の死をとげた日であり、記念碑広場では碑前祭が開かれ、
生誕100年の特別の年とあって例年の倍ほどの参列者があり、碑前祭を受けて開く計画の「講演
と映画のつどい」は大きな影響をこうむることとなった。

予定を変え、まずDVDで約2時間の映画「ニエ・アル」の上映となり、やがて碑前祭参加者
もこちらへ移動して来た。

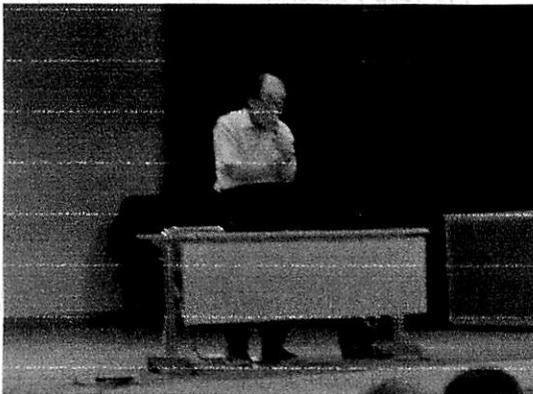


趙丹演じる、上海の長屋時代のニエ・アル



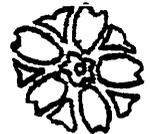
劇場で官憲の弾圧に抗し「インターナショナル」を

上映が終わり、残り時間わずかな中、講師の伊藤敬一日中友好協会名誉会長が登壇、「ニエ・
アルが活躍した時代」と題する講演にうつったが、次に使う団体に会場をあげなければならず、
じゅうぶんなお話の時間もないまま会を閉じることとなった。また、その場で「義勇軍行進曲
を演奏させてください。」とお申し出もいただいたが、お断りせざるをえなかった。





日中 湘南支部だより



2012. 9. 5

58号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

9月 支部学習会

「県連55年史」発刊へ

27日(木) 午後2時～5時

市民活動推進センターで

話題：最近の中国の生活

7月から8月初めにかけて中国へ行ってこられた
長谷川幸生先生にいろいろお話しいただきます。

第13回 支部理事会 8月15日(金)に開き、
8、9月の支部活動を中心に話し合いました。

第14回 支部理事会

9月13日(木) 午後2時～。

総会などについて相談します。

9月 ニエ・アル広場清掃は4日(火) 11時～ です。

ごつこうのつく方、現地まで。

暑さにまげず、がんばりましょう。

—使える中国語を楽しく—

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は県央の
教室へ出かけて勉強しています。先生、学習者ともども
仲間を待っています。

問い合わせは ワタナベ(43-0495)まで。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名市文化会館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

県連 第2回 常任理事会

8月13日(月) 県民活動サポートセンターで

8月、9月の活動計画を中心に話し合った。

かねてから取り組まれていた県連史がほぼまとまり、発行日
も9月1日と決まり、次回の常任理事会で披露されることと
なった。

中国旅行の詳細も決まり、参加者を募ることとなった。

→「県連ニュース」196号で概略。別紙折り込み

また、「中国悠久の旅」カレンダーの申込み開始となるが、本部
の要請にこたえ、昨年より+10部の260部の普及を目指すこ
ととした。→申し込み用紙はいずれ折り込みます。

第3回常任理事会は、9月10日(月)

討議に先立ち、情勢について学習をすることを三役会
で決めた。

中国「残留孤児」配偶者の生活支援請願署名の取り組み
みなさまそれぞれに取り組んでいらっしゃると思います。
県連のほうにも署名のすんだ用紙が寄せられてきています。

湘南支部では400筆を目標に取り組みます。折り込みの
署名用紙をご活用ください。署名のすんだ用紙は湘南支部
あるいは県連までおとどけください。

編集あとがき：◆9月にはいり、気温も少し低くなってきま
したが、例年以上の暑さがまだまだ続きそうです。去年の今ご
ろは輪番停電であたふたしていました。◆内閣総理大臣に対す
る問責が決議され、なかなか動かないように見えていた政治に
も、じわじわと民意が反映される方向に動き始めています。も
ちろん今の政治の世界、複雑なところも多々ありますが。◆9
月8、9の2日間にわたり協会本部およびその周辺を会場とし
て日中友好協会「全国青年交流会」が開かれます。残念ながら
神奈川には「10代から30代」という参加資格にあり会員・
準会員がいません。(7)

県央・中国市民講座

書家・政治家 顔真卿の剛直な生涯

波乱の唐王朝で信念を守り抜く

とき＝2012年9月16日（日）14時～16時

ところ＝海老名市文化会館会議室

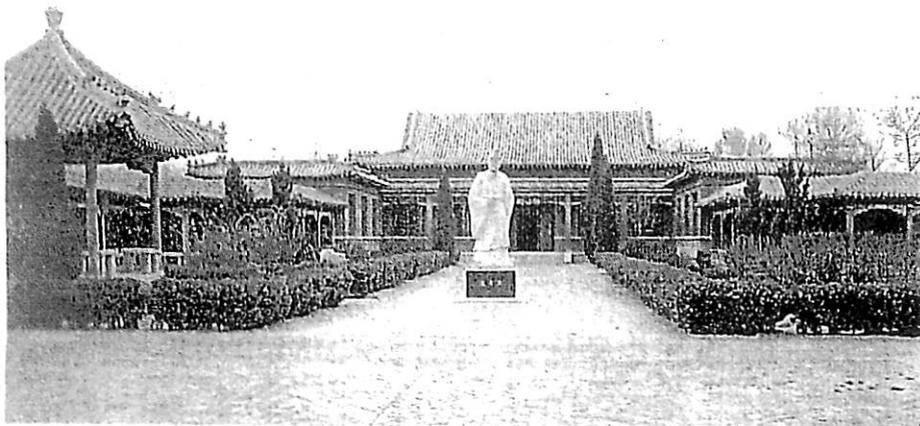
講師＝中国研究者・菅野正則先生（元麻布中学高校教諭）

資料代＝500円 主催・日中友好協会神奈川県央支部

申込み＝電話かFAX・046-231-5401 並河

顔真卿は、唐王朝の混乱期に玄宗、肅宗、代宗、徳宗の四代皇帝に仕え、孔子の高弟顔回の末裔として腐敗墮落した朝廷の中で、清潔さと信義を重んじる儒教の信念を守り抜こうとし、それゆえに波乱の人生を送った政治家です。晩年顔真卿は、独立王国を形成しようとして反乱した李希烈のもとへ慰撫使として派遣され、そのまま抑留され2年間に亘って投降を迫られますがそれを拒否して殺されます。こういう顔真卿の姿は、死後人々から忠節の士として高く評価され、その優れた書が人々に至宝として受け継がれてきました。

講座ではそういう顔真卿の生涯を紹介し、特に安録山の反乱前後に焦点を絞って顔真卿の剛直な生き方に迫ります。



山东陵县
顔魯公祠



日中 湘南支部だより



2012. 10. 5

59号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

30日の支部総会には支部から6名、県連増田会長

の出席がありましたが、欠席者からの委任状が少なく正式の総会として成立できませんでしたが、出席者で、今後の支部の活動について意見交換をし、具体化についてはこれまでどおり現在の役員で進めていくこととしました。

学習会については、テーマを吟味しながら2月に1度ぐらいではどうか、なんとかもっと多くの人に参加してほしい、などのことが出ました。

9月学習会は27日(木)長谷川幸生先生から

「最近の中国の生活」についていろいろお話いただきました。尖閣諸島の領有権の問題にもふれていただきました。

第14回 支部理事会 9月13日(木)に開き、総会に向けてのを中心に話し合いました。

2012年度 第1回 支部理事会

10月11日(木)午後2時～。

10月 ニエ・アル広場清掃は 8日(月) 13時～ です。

ごつこうのつく方、現地まで。雨天中止です。

「中国悠久の旅」カレンダー来ています。

申し込みはワタナベまで。

—使える中国語を楽しく—

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は県央の教室へ出かけて勉強しています。先生、学習者ともども仲間を待っています。

問い合わせはワタナベ (43-0495) まで。

県連 第3回 常任理事会

9月10日(月) 県民活動サポートセンターで開かれた。

討議に先立ち、情勢について本部矢崎事務局長からの提議があり、討議をおこなった。そのあと議事の話し合いにうつった。柳条湖事件81周年の行動(→次頁)、「県連55年史」発刊記念集会、中国旅行などを中心に討議決定した。

第4回 常任理事会は、10月9日(火)

柳条湖事件81周年で宣伝

いわゆる満州事変の発端となった柳条湖事件から81周年となる9月18日(火)、県連では例年のように桜木町駅前広場で歴史を正しく認識し、憲法を守り、隣国との友好をすすめるよう、と訴えました。折からの尖閣諸島問題もあってか、人々の関心が高く、快くピウを受け取る人が多いように見受けられました。

中国「残留孤児」配偶者の生活支援請願署名の取り組みみなさまそれぞれに取り組んでいらっしゃると思います。湘南支部では400筆を目標に取り組んでいます。署名のすんだ用紙は湘南支部、あるいは県連までおとどけください。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名文化会館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

基礎教室(新設) 海老名文化会館

編集あとがき：◆尖閣諸島の領有権をめぐる日本と中国との紛糾、長引くばかりでさまざまところで話題になっています。解決へ向けた両国の話し合いへの第一歩は、まず領土問題の存在を認めることではないでしょうか。◆前号でもかきましたように、神奈川には残念ながら「青年交流会」参加資格の「10代から30代」にあう会員・準会員がいません。みなさまのまわりにいらっしゃる方をぜひご推薦ください。(7)

国交回復記念切手

朝妻 正彦

9月4日に日中国交正常化40周年を記念した80円切手が発行されました。本来は国交正常化の日の29日に発行が予定されていたものですが、4日に変更されました。変更の理由は不明です。図案はサクラとボタンを描くものです。このあと、尖閣諸島をめぐる日本と中国のトラブルをめぐり40周年の記念行事は延期されることになってしまいました。

日本では正常化10周年にあたる1982年9月29日に梅原龍三郎画の「雲中天壇」を描く60円切手を発行しています。

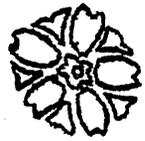
1992年9月29日には国交正常化20周年を記念して「色絵月梅図茶壺」と「唐三彩龍耳瓶」を描く2種の62円切手が発行されました。

2002年9月13日には国交正常化30周年記念として80円切手2種が発行されました。「紫藤花」「源遠流長」と題する絵が題材になっています。





日中 湘南支部だより



2012. 11. 5

60号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシカた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

学習会 11月 休み

2012年度 第1回 支部理事会

10月11日(木) 午後2時～

10月の活動について話し合いました。

第2回 支部理事会 11月15日(木) 午後2時～

11月 ニエ・アル広場清掃は 5日(月) 13時～ です。

ごつこうのつく方、現地まで。雨天中止です。

2013年「中国悠久の旅」カレンダー ￥1,200.-

申し込みはワタナベまで。

—使える中国語を楽しく—

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は県央の教室へ出かけて勉強しています。先生、学習者ともども仲間を待っています。

問合わせはワタナベ (43-0495) まで。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名文化会館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

基礎教室(新設) 海老名文化会館

つごうにより、会場が変わることがあります。

県連 第4回 常任理事会

10月9日(火) 県民活動サポートセンターで開かれた。

「県連55年史」発行記念行事(→次項)、中国旅行などを中心に討議決定した。中国旅行は参加者6名であるが、みんなの強い希望で実施することとなった。

県連方針の具体化とその推進については、時間の関係で次回にまわすこととなった。

第4回 常任理事会は、11月12日(月)

「県連55年史」発刊記念祝賀会に30名

10月27日、皆様にご案内いたしました県連55年史発刊祝賀会が横浜中華街で開かれました。

この日、相模原支部、西さがみ支部で別に学習会や映画会があるなど、厳しい条件のなか地元中華街の華僑総会の朱副会長、横浜地区中国人留学生学友会の羅副会長、留学生援護会前山会長、日中友好協会伊藤敬一名誉会長を始めとする来賓と県連20人ほどが集い、懇案の県連史の発刊を喜びとともに、今後とも変わらぬ姿勢で互いに日本と中国の友好の発展に尽くす決意を新たにしました。

(→次ページ)

中国「残留孤児」配偶者の生活支援請願署名の取り組み
湘南支部では400筆を目標に取り組んでいます。

署名のすんだ用紙は湘南支部、あるいは県連までおとどけください。

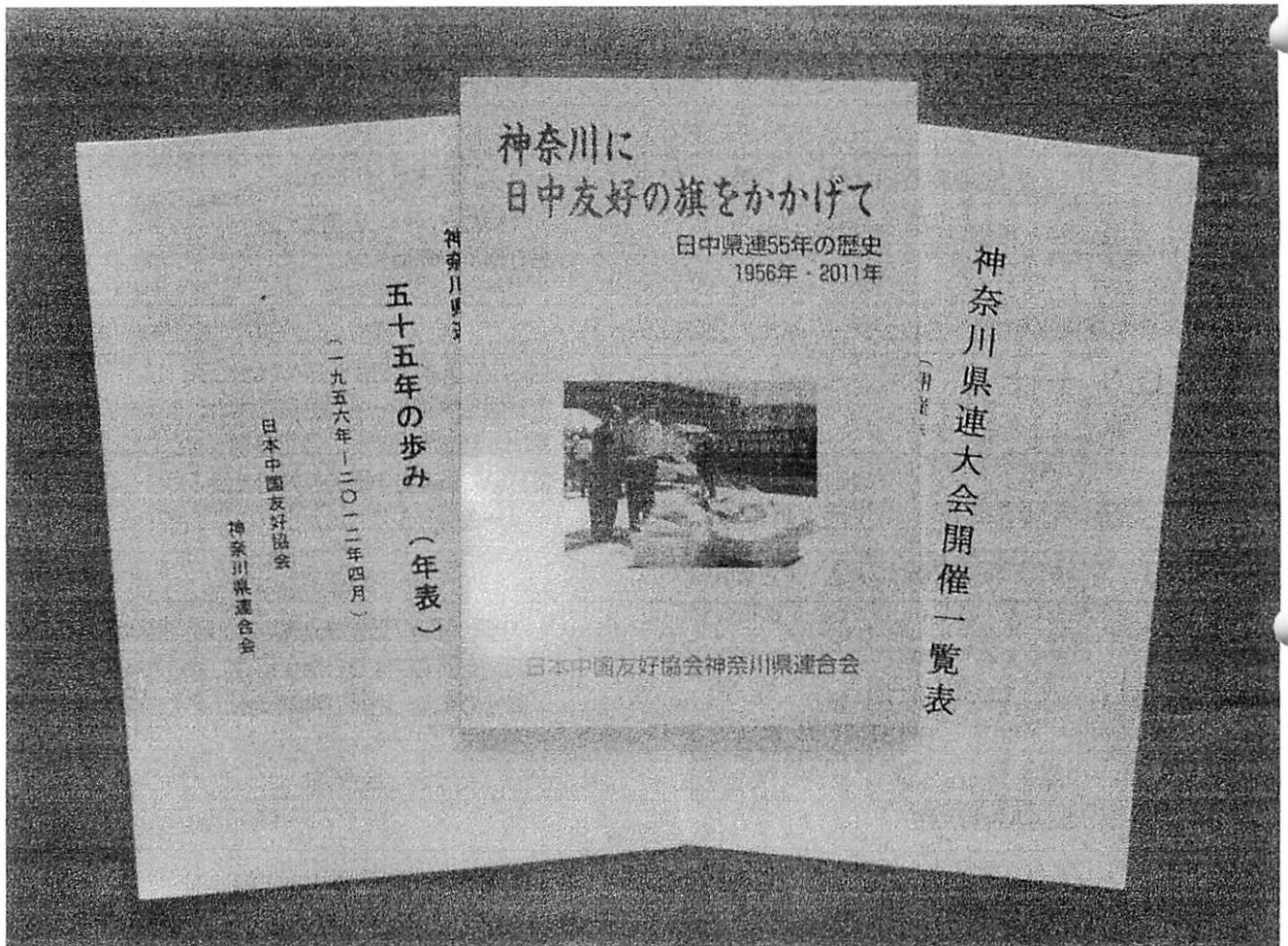
編集あとがき：◆18日横浜国立大学で開かれた横浜地区中国人留学生学友会主催の国慶節・中秋節連歓会に招かれ、出席しました。招かれた各団体の20名ほどと60名ほどの留学生と、学生のバイオリン演奏、福引などでなごやかなひとときを過ごしました。集まった者はみな、最近の日中間のもめごとを心配しつつ、未永い友好を信じています。(ワ)

県連55年史「神奈川に日中友好の旗をかかげて」

ご希望の方どなたにもお分けいたします。 ネダン 600円

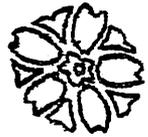
本冊と別冊「神奈川県連大会開催一覧表」「五十五年の歩み（年表）」の2冊がついて
います。

購入希望の方は県連（デンワ・ファックス 045-663-0041）またはワタナベまで。





日中 湘南支部だより



2012. 12. 5

61号

発行：日中友好協会 神奈川県連合会 湘南支部

連絡さき 藤沢市長後 794-4-23 ワタナベ サトシかた デンワ・ファックス (0466) 43-0495

2012年度 第2回 支部理事会

11月15日(木) 午後2時～

11月の活動について話し合いました。

第3回 支部理事会 12月18日(木) 午前10時～

12月 ニエ・アル広場清掃は 10日(月) 13時半～です。

ごつこうのつく方、現地まで。雨天中止です。

2013年「中国悠久の旅」カレンダー ￥1,200.-

残りわずか！ 申し込みはワタナベまで。

会費納入のお願い、近日中にお送りします。

—使える中国語を楽しく—

藤沢支部中国語教室 生徒大募集

ただいま生徒減少につき、休校となり、学習者は県央の教室へ出かけて勉強しています。先生、学習者ともども仲間を待っています。

問い合わせはワタナベ (43-0495) まで。

県央中国語教室

(問合せ) 046-234-6372 持田さん

初歩教室 海老名サポートセンター

入門教室 海老名サポートセンター

海老名教室 海老名文化会館

座間教室 座間東原コミュニティセンター

基礎教室(新設) 海老名文化会館

つごうにより、会場が変わることがあります。

県連 第5回 常任理事会

11月12日(月) 県民活動サポートセンターで開かれた。

11月16日神奈川平友連主催緊急学習会(→次項)、12月8日開戦記念日の行動などを中心に討議決定した。→折り込み

第6回 常任理事会は、12月17日(月)

石山久男先生(歴史教育者協議会元委員長)を迎え学習

11月16日、神奈川労働プラザで、いま近隣諸国との間で政治問題になっている領土問題について、解決のためには歴史的に、国際的にどのような見方が大事なのかお話しいただき、参加者からの質問にも答えていただきました。

情勢を討議、第62回大会を準備

11月18日(日)、19日(月)の2日にわたり東京で全国理事会が開かれた。理事会では領土問題、協会の現状などについての討議を進め、第62回大会成功に向けていっそうの努力をしていくことを誓い合いました。

「神奈川に日中友好の旗をかかげて」

県連55年の活動の歴史、「年表」「大会開催一覧表」付きで600円です。皆さまぜひご購入、お読みください。

ご希望の方は支部または県連まで。

第9回「餃子パーティー」 12月23日(日)

中国「残留孤児」との交流会 いちょう団地で

→「友好新聞」次号の折込み

署名は湘南支部、あるいは県連までおとどけください。

編集あとがき：◆この「たより」がお手元に届くころには、選挙の正式な告示がなされているでしょう。信じがたいことに、過去の他国への侵略、虐殺の歴史を再演したがつている恐るべき勢力がはびこって競いあっています。なんとしても平和推進勢力を大きく伸ばしたいものです。(〇)

参加者は皆大満足、県連の「中国友好の旅

菅野 正則

中国は尖閣デモ騒動より官僚への不満が深刻

11月3日～7日県連の「中国友好の旅」に行ってきました。尖閣諸島問題でのデモ騒動があり、私も突発的な反日表示に出会うかも知れないと思っていましたが、そんな気配は全くなく、私たちが接した中国の人たちは皆友好的でした。中国の普通の人たちにとって私たちは友好の意を持って訪れてくれたお客さんなのです。日本人は中国での特殊な事件をオーバーラップして報道するマスコミなどの影響で中国を危険な国と認識させられているのですが、同様に中国の人たちも日本を「軍国主義国家」と認識している人たちが4割位いるという世論調査の結果もあるということですから我々にとっては驚きです。

草の根の交流が今こそ必要なのではないのでしょうか。

ただこの旅行で改めて実感したのは、ガイドさんが言う官僚優遇に対する人々の不満でした。ガイドさんのお母さんの年金は月2000元(2,7万円)、それに対してお母さんが入院していた時、向かいのベッドにいた元官僚の人の年金は6000元だったそうです。こんな役人への優遇(ただ、その具体的な制度は分かりません)と腐敗に対する人々の不満が鬱積していることは強く感じられました。私が初めて中国へ行ったのは1980年代後半でしたが、その頃色々な場所の壁に、一人っ子政策と「为人民服务」というスローガンが目につき、人民に奉仕する役人や教員の給料は低いと出会った人たちは嘆いていましたが、今は隔世の感になっているようです。党员や役人の腐敗汚職は11月に開かれた第18回中国共産党大会でも問題視され、「腐敗汚職は党の存亡にもかかわる」とまで胡錦濤主席に言わせるまでになっており、この問題の深刻さを裏付けています。

今度の旅行では寧波で日本語を学ぶ学生たちとの座談会が予定されていましたが、この企画も尖閣問題を心配した相手方の意向で中止となりました。さらに確実に会えると楽しみにしていた私と中学生の時に知り合い、日本に留学して日本企業に就職し、帰国して結婚した私にとっては実の娘同様に可愛い存在の姑娘も、妊娠中毒症で入院中ということで会えず、ガイドさん以外は現在の中国について語ってくれた人は誰もいなかったことに物足りなさを感じました。

日本の僧、慧萼、鑑真、最澄、栄西、道元、雪舟ゆかりの寺をめぐる

旅行は紀元前7000年～5000年前、稲作文化発祥の地とみられている河姆渡遺跡の見学から始まり、寧波の東方100キロ位の海上から1300以上の島が散在する舟山群島のひとつ普陀山に参詣しました。普陀山は916年、日本の留学僧慧萼(えがく)が修行を終え、五台山から観音菩薩像を日本に招来しようとしたがこの地で菩薩が行くことを拒んだため、慧萼はこの地に観音堂を建てたという故事にちなんで寺院が建てられ、中国最大の観音霊場となっている所です。約12km²の地に、三つの大きな寺と禅院や観音像などがあちこちにあり、信仰と観光の名所となっており、日本では見られないユニークな島です。寺は日曜日ということもあり礼拝のため訪れた人たちでたいそう賑わっていました。その後私たちは寧波市の郊外にある道元や雪舟が修行した天童寺、日本に渡る途上遭難した鑑真が一時身を寄せ、臨済宗の開祖栄西も訪れた愛育王寺、寧波の南方100キロ位の所、最澄が修行した天台山の国清寺も訪れ日本の仏僧たちの修行に思いをはせ、帰路紹興にある王羲之ゆかりの地「蘭亭」を見学して帰国しました。浙江省は海と山の資源に恵まれた豊かな地です。私たちは一日三度の美味しい食事に舌鼓をうち、豪華ホテルで別世界の感覚を味わいながら和やかに旅をつづけ、参加者はみな大満足でした。